

2021年8月4日 第2.0版

## 高齢者古典的ホジキンリンパ腫と診断された患者さんの

## 試料・情報を研究に利用することについてのお知らせ

九州医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究にカルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 高齢者古典的ホジキンリンパ腫の臨床病理学的特徴と治療に関する  
多施設共同後方視的観察研究：HORIZON study

[当院の研究責任者] 血液内科 科長 岩崎 浩己

## [研究の背景]

古典的ホジキンリンパ腫（以下この文書の中ではホジキンリンパ腫と記載します）は、日本では比較的発生頻度が低いリンパ腫の一つです。比較的若年者に多く、適切な初回治療で治癒可能な疾患です。しかし、ホジキンリンパ腫の20-30%は60歳以上の高齢者に発症し、欧米からの研究報告によると、これらの高齢患者さんでは、治療成績が不良である可能性が指摘されています。ただし、本邦における高齢者ホジキンリンパ腫の患者さんに関する治療成績は報告されておられません。現在、2007-2016年に診断された61歳以上のホジキンリンパ腫患者さんを対象として、治療の内容、治療の効果、副作用を調査し、診療実態を明らかにする調査研究が、日本国内の血液・腫瘍内科の専門医による共同研究として行われています。

## [研究の目的]

初発の高齢者古典的ホジキンリンパ腫(classic Hodgkin lymphoma, cHL)に対する治療内容とその有効性および有害事象を調査し、その診療実態を明らかにすることを主な目的とします。

## [研究の方法]

## ●対象となる患者さん

2007年1月1日から2016年12月31日の間にホジキンリンパ腫と診断され、診断された際に61歳以上であった方

## ●研究期間：2018年5月15日から2023年5月15日

## ●利用する検体、カルテ情報

検体：必要に応じて、診断に用いた病理標本の一部。

カルテ情報：

生年月、性別、識別番号、診断時の年齢、PS\*、身長、体重、初回診断日、初発時病期、喫煙歴、既往歴/合併症、ホジキンリンパ腫に関する症状、検査結果、治療の内容、治療の効果と副作用

(\*：Performance Status 全身状態の指標の一つ)

●検体や情報の管理

病理標本は、研究事務局に配送で提出し、病理医による診断の確認を行います。

情報は、研究事務局である国立がん研究センター中央病院に郵送で提出され、集計、解析が行われます。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

●研究代表者（研究の全体の責任者）：名古屋医療センター血液内科 永井 宏和

●その他の共同研究機関：

各参加施設の研究責任者：

医療機関名	診療科名	研究責任者
札幌北楡病院	血液内科	小林 直樹
北海道がんセンター	血液内科	黒澤 光俊
岩手医科大学附属病院	血液腫瘍内科	伊藤 薫樹
東北大学病院	血液内科	張替 秀郎
秋田大学医学部附属病院	血液膠原病内科	高橋 直人
群馬県立がんセンター	血液内科	村山 佳予子
公立藤岡総合病院	血液内科	外山 耕太郎
埼玉医科大学国際医療センター	造器腫瘍科	塚崎 邦弘
埼玉医科大学総合医療センター	血液内科	木崎 昌弘
千葉県がんセンター	腫瘍血液内科	熊谷 匡也
国立がん研究センター東病院	血液腫瘍科	南 陽介
国立がん研究センター中央病院	血液腫瘍科	伊豆津 宏二
東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科	島田 貴
杏林大学医学部附属病院	第二内科	高山 信之
東京慈恵会医科大学附属第三病院	腫瘍・血液内科	土橋 史明
神奈川県立がんセンター	血液・腫瘍内科	酒井 リカ
東海大学病院	血液腫瘍科	安藤 潔
金沢医科大学	血液免疫内科	正木 康史
福井大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科	山内 高弘
国立病院機構 名古屋医療センター	血液内科	永井 宏和
愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部	山本 一仁

名古屋大学医学部附属病院	血液内科	島田 和之
名古屋第二赤十字病院	血液・腫瘍内科	内田 俊樹
名古屋市立大学病院	血液・腫瘍内科	飯田 真介
豊田厚生病院	血液内科	平賀 潤二
藤田医科大学病院	血液内科	富田 章裕
滋賀県立総合病院	血液・腫瘍内科	内海 貴彦
京都府立医科大学附属病院	血液内科	黒田 純也
近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科	松村 到
兵庫県立がんセンター	血液内科	村山 徹
島根大学医学部附属病院	血液内科	鈴木 律朗
岡山医療センター	血液内科	角南 一貴
産業医科大学病院	血液内科	塚田 順一
国立病院機構 九州医療センター	血液内科	岩崎 浩己
国立病院機構 九州がんセンター	血液内科	末廣 陽子
福岡大学医学部	腫瘍・血液・感染症内科	高松 泰
佐賀大学医学部附属病院	血液・呼吸器・腫瘍内科	木村 晋也
長崎大学病院	血液内科	宮崎 泰司
国立病院機構 長崎医療センター	血液内科	吉田 真一郎
佐世保市総合医療センター	血液内科	森内 幸美
熊本大学病院	血液・膠原病・感染症内科	野坂 生郷
大分県立病院	血液内科	大塚 英一
鹿児島大学病院	血液・膠原病内科	石塚 賢治
群馬大学医学部附属病院	血液内科	塚本 憲史
大阪市立総合医療センター	血液内科	山根 孝久

## [個人情報の取扱い]

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表の管理は、本研究に関与しない事務部長が責任をもって適切に管理いたします。

検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である名古屋医療センター血液内科 永井宏和が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

## [当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構九州医療センター

血液内科 科長 岩崎 浩己

〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1